

ゲレンデスキー

自然の家から徒歩約10分にある日高国際スキー場でのゲレンデスキーは冬の人気のプログラムの1つ。スキーを通してウィンタースポーツに親しむとともに、体力づくりの効果も期待できる。
(※スキー場リフトの利用とスキーレンタルについては、別途料金がかかります。)

○時期…12月下旬～3月上旬

※天候や降雪状況により、実施できない場合あり。詳しくは日高国際スキー場(TEL:01457-6-3667)に確認。

○所要時間…3時間以上(移動を含む)

○活動時間…日高国際スキー場の営業時間内

○対象…幼児以上

○定員…なし

○実施場所…日高国際スキー場

○指導…職員指導なし

日高国際スキー場HP



○団体が用意するもの

スキー道具、飲料水、救急バッグ
(汗拭きタオル)

○貸出物品⇒事務室

ゼッケン

○服装

スキーウェアなど雪の中での活動に適した服装

手袋、帽子、ネックウォーマー、ゴーグル、ヘルメット

※用具やスキーウェア等の貸出を希望の場合、沙流川温泉ひだか高原荘(01457-3-7008)からレンタルできる。

○活動手順

【自然の家到着時】

・スキー道具を持参した場合、ポート庫のスキー置き場に入れる。

※すぐに出発する場合は駐車場の端などに置いておくのも可能。(要相談)

【活動前】

・トイレを済ませる。

・雪の中で活動できる服装に着替える。

・引率者はゼッケンを事務室に取りに来る。

【活動時】

1. ポート庫のスキー置き場からスキー道具を取り出し、スキーブーツを履く。

2. スキー板を持って外に集まる。

※別紙「ゲレンデスキーの活動にあたって」参照。

3. 本館からA営火場まではスキー板を持って徒歩で移動する。

4. A営火場でスキー板を履き、スキー場まで移動する。

※別紙「日高国際スキー場での活動にあたって」参照。

※スキー場までスキー板を持って移動してもよい。

5. スキー場での注意事項を伝える。

6. グループごとにスキーを行う。

7. スキー終了後、A営火場に移動してスキー板を脱ぐ。A営火場から本館まではスキー板を持って徒歩で戻り、道具を保管する。

※スキーウェア、小物類は宿泊棟に持っていく(乾燥室も利用可能。要相談)。



団体名とラック番号が掲示されています。
指定の番号のラックを使用してください。

※借りたゼッケンは、事務室に返却する。

○留意点

1. 参加者に持ち物を連絡し、準備を整えておく。事前指導を行っておく。小物は記名をする。
2. 参加者のスキー技術を調査し、指導者の人数に応じてグループ分けをしておく。
3. 講師の確保が必要であれば、団体で確保する。
4. 自然の家との間で行うことは、次の通り。
 - ・スキー置き場、その他用具置き場の確認。
 - ・リフト券割引利用有無連絡（町内施設宿泊1日券及び町内施設一泊2日券の購入には証明書が必要です。証明書は自然の家で発行しますので、スキー場へ行く前に申し込んで下さい。）

○リフト券の購入について

リフト券は日高国際スキー場で直接購入する。問い合わせ：01457-6-3667（TEL）

○スキー道具のレンタルについて

直接、沙流川温泉ひだか高原荘に問い合わせをする。問い合わせ先：01457-3-7008（TEL）

○スキーウェア・スキーブーツ等の管理について

1. 基本的に宿泊棟で保管する。
 - ※濡れがひどい場合は、乾燥室（要相談）やブーツ置き場に置くことができる。
2. 宿泊棟に用具を持ち込む前に、外で雪を落とす。
3. 宿泊棟の暖房器具の上に直接用具を置くと、熱で変形したり、融けたりする場合がありますので、気を付ける。

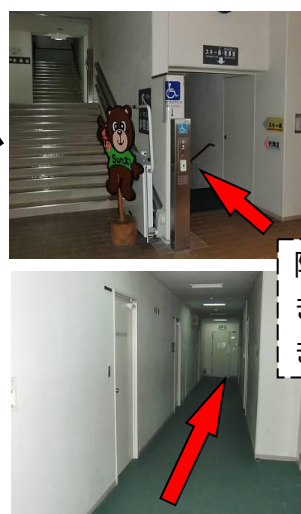
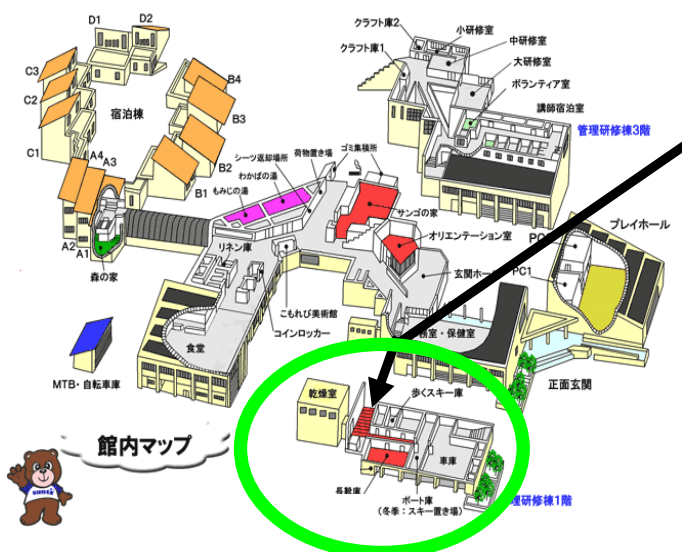
○乾燥室の利用について

1. ストープの稼働時間は16:00～22:00。
 - ※使用の予定がない日は稼働しない。ストープの電源が入っていない場合は事務室に連絡をする。
2. 置き場は限られている。場所を効率よく、分け合って使う。
3. 用具を置いている間の物品管理については、各団体が責任をもつ。用具の取り違いがないよう、事前指導を徹底する。
4. 貴重品を置いたままにしないよう徹底する。



○スキー置き場への行き方について

玄関ホールから下に降りる階段を下るとスキー置き場に行くことができる。



階段を下りて左の突き当たり
にスキー置き場があります。